

新しい血管吻合デバイスに関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年12月6日 ～ 2024年9月1日

〔研究課題〕

長軸方向血管内視鏡(aMS)を用いた血管吻合術の効果と課題

〔研究目的〕

従来は、手術用顕微鏡を用いてマイクロサージャリーを行います。この場合はいわゆる俯瞰した術野で手術を施行するため血管の内腔の観察がしづらいことがしばしばあります。もし、血管壁を正面から捉えたような術野を得ることができれば従来の術野に加えて死角が減るため血管吻合はより安全に行いやすくなります。われわれはマイクロサージャリー用鑷子に取り付けステーを設置し、小さな内視鏡を固定することで血管壁を正面から捉えられ、より従来よりも死角を減らす可能性があるシステム(axial direction microsurgical scope: aMS)を独自に開発し、血管吻合をより安全に行うため吻合術の際中には録画を行っています。本研究では aMS で得られた画像について従来型画像と比較し今後のシステム改良に活かします。

〔研究意義〕

本システムを用いて撮影した血管吻合映像について、従来型顕微鏡で得た画像との比較を行い画角、解像度、見易さ、死角の減り方などについて検討することで今後の本システムのさらなる発展を目指します。

〔対象・研究方法〕

対象:2022年10月31日までに当院で遊離組織移植術のために血管吻合をうけた方で、血管吻合時に aMS で撮影したビデオ映像と同時撮影した通常の顕微鏡の映像を記録・保存されている方

方法:保存した画像について見易さや死角の減り方などについて検討します。得られた画像について記録・解析についてご協力して頂けるようお願い申し上げます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部形成・口腔顎顔面外科学講座
帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

血管吻合時の映像データおよび患者対照表データ（内容は手術日、吻合血管名と患者 ID のみ）を用います。研究期間中、情報は厳重に管理します。なお、研究終了後に対照表等のデータは帝京大学臨床研究センターで10年間保管し廃棄します。

〔その他〕

開示すべき利益相反はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 大河内真之

職名 病院教授

所属: 帝京大学医学部形成・口腔顎顔面外科学講座

住所: 板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)